

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄							備考		
計画の区分	学部の設置者変更									
フリガナ設置者	ガッコウホウジン テンリダイガク 学校法人天理大学					ガッコウホウジンテンリヨロツソウダンショガクエン (旧設置者) 学校法人天理よろづ相談所学園				
フリガナ大学の名称	テンリダイガク 天理大学 (Tenri University)									
大学本部の位置	奈良県天理市杣之内町1050番地									
大学の目的	本大学は、教育基本法および学校教育法に則り、天理教教義に基づいて、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、もって人類の福祉と文化の発展に貢献する人材、殊に世界布教に従事すべき者を育成することを目的とする。									
新設学部等の目的	天理大学と天理医療大学は同じ宗教的基盤のもとで人文系総合大学及び医療系大学として教育文化を育んできたが、双方の教育文化を融合することで、それぞれの大学の研究分野を連携し、伝統に培われた教育内容を一元的に学生に提供することで学修の幅を拡げることが可能になる。加えて、文理を融合した幅広い学修内容を準備することで、多様な学生を受け入れることが可能になり、将来、さまざまな地域社会において積極的に貢献できる人材の育成することを目的とする。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		
	医療学部 [Faculty of Health Care]	年	100人	年次人			年月第年次	奈良県天理市別所町80番地の1		
	看護学科 [Department of Nursing]	4	70	-	280	学士看護学	令和5年4月第1年次	同上		
	臨床検査学科 [Department of Clinical Examination]	4	30	-	120	学士臨床検査学	令和5年4月第1年次	同上		
計										
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	該当なし									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
	医療学部 看護学科	37	26	13	76	124 単位				
医療学部 臨床検査学科	33 科目	22 科目	20 科目	75 科目	124 単位					
教員組	学部等の名称		専任教員等						兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	新設分	医療学部 看護学科	7人	3人	9人	6人	25人	4人	70人	
		医療学部 臨床検査学科	9	1	2	1	13	0	27	
		計	16	4	11	7	38	4	97	
	既組	人間学部	-	-	-	-	-	-	-	
		宗教学科	3	0	1	1	5	0	15	
		人間関係学科	-	-	-	-	-	-	-	
		臨床心理専攻	3	2	0	0	5	0	10	
		生涯教育専攻	3	2	0	0	5	0	3	

概 要	設 の 織	社会福祉専攻	2	2	1	0	5	0	10
		総合教育研究センター	8	3	0	0	11	0	33
		文学部 国文学国語学科	6	0	0	0	6	0	8
		文学部 歴史文化学科	6	3	1	0	10	0	16
		国際学部	—	—	—	—	—	—	5
		外国語学科	—	—	—	—	—	—	—
		英米語専攻	4	7	0	0	11	0	23
		中国語専攻	2	2	0	0	4	0	7
		韓国・朝鮮語専攻	3	1	1	0	5	0	3
		スペイン語・ ブラジルポルトガル語専攻	3	2	0	0	5	0	6
		地域文化学科	17	7	3	0	27	0	34
		体育学部	—	—	—	—	—	—	—
		体育学科	12	8	4	1	25	0	22
		附属 おやさと研究所	2	0	2	0	4	0	0
		計	74	39	13	2	128	0	195
合 計	90	43	2	9	166	4	292		
教員 以外 の職 員の 概要	職 種	専 任		兼 任		計			
	事 務 職 員	118 人		52 人		170 人			
	技 術 職 員	0		0		0			
	図 書 館 専 門 職 員	26		7		33			
	そ の 他 の 職 員	13		1		14			
	計	157		60		217			

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	校 舎 敷 地	148,332.61㎡	0㎡	0㎡	148,332.61㎡					
	運 動 場 用 地	163,322.48㎡	0㎡	0㎡	163,322.48㎡					
	小 計	311,655.09㎡	0㎡	0㎡	311,655.09㎡					
	そ の 他	27,034.99㎡	0㎡	0㎡	27,034.99㎡					
合 計	338,690.08㎡	0㎡	0㎡	0㎡	338,690.08㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
		81,584.21㎡	0㎡	0㎡	81,584.21㎡					
教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	新設学部				
	7 室	13 室	9 室	0 室	0 室					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数		新設学部				
		医療学部		30 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	新設学部		
	医療学部	10,000 〔288〕	2,538 〔665〕	2,252 〔659〕	531	0	0			
	計	10,000 〔288〕	2,538 〔665〕	2,252 〔659〕	531	0	0			
図 書 館		面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		14,348.40㎡	349席		170万冊					
体 育 館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
		16,377.25㎡	武道館（柔剣道場） 2,434.73 ㎡ 弓道場 203.34 ㎡ 空手道場 283.14 ㎡ トレーニングルーム 220.32 ㎡							
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費 の見 積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	新設学部
		教員1人当り研究費等		292 千円	292 千円	292 千円	292 千円	—	—	
		共同研究費等		1,500 千円	1,500 千円	1,500 千円	1,500 千円	—	—	
		図書購入費	1,816 千円	1,816 千円	1,816 千円	1,816 千円	1,816 千円	—	—	
	設備購入費	18,550 千円	18,550 千円	18,550 千円	18,550 千円	18,550 千円	—	—		
	学生1 人当り 納付金	学部	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		人間・文 国際	1,080千円	1,030千円	930千円	910千円	—	—		
体育		1,150	1,100	1,000	980	—	—			
医療	1,565	1,590	1,590	1,590	—	—				
学生納付金以外の維持方法の概要			寄付金、私立大学等経常費補助金、手数料、資産運用収入、雑収入等を充当する							
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称		天理大学							
	学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地
	大学院		年	人	年次・人	人		倍		
	宗教文化研究科		2	6	—	12	修士（宗教文化）	0.12	平成29年度	奈良県天理市袖之内町1050番地
	臨床人間学研究科		2	8	—	16	修士（臨床心理学）	0.90	平成16年度	同上
	体育学研究科		2	12	—	24	修士（体育学）	0.74	平成27年度	同上
	人間学部			120		480				
	宗教学科		4	40	—	160	学士（宗教学）	0.76	平成4年度	同上
	人間関係学科									
	臨床心理専攻		4	30	—	120	学士（臨床心理）	1.01	平成4年度	同上
	生涯教育専攻		4	20	—	80	学士（生涯教育）	0.92	平成4年度	同上
	社会福祉専攻		4	30	—	120	学士（社会福祉）	1.06	平成4年度	同上
	文学部			90		360				
国文学国語学科		4	40	—	160	学士（国文学）	0.91	昭和24年度	同上	
歴史文化学科		4	50	—	200	学士（歴史文化）	0.80	平成4年度	同上	

国際学部		360		1440					
外国語学科									
英米語専攻	4	70	—	280	学士（英語）	0.91	平成22年度		同上
中国語専攻	4	30	—	120	学士（中国語）	0.70	平成22年度		同上
韓国・朝鮮語専攻	4	30	—	120	学士（韓国・朝鮮語）	1.15	平成22年度		同上
スペイン語・ ブラジルポルトガル語専攻	4	35	—	140	学士（スペイン語） 学士（ブラジルポルトガル語）	0.68	平成27年度		同上
地域文化学科	4	195	—	780	学士（地域文化）	0.96	平成22年度		同上
体育学部		200		800					
体育学科	4	200	—	800	学士（体育学）	1.09	昭和30年度	奈良県天理市田井庄町80番地	
附属施設の概要	<p>名称：天理大学附属天理図書館 目的：天理大学における教育研究に資するため、図書及びその他の資料を収集、整理、保存 所在地：奈良県天理市袖之内町1050番地 設置年月：大正14年8月 規模等：延面積 11,482㎡ 蔵書数 150万冊 名称：天理大学附属おやさと研究所 目的：天理教及び世界諸民族の宗教・文化を研究調査する 所在地：奈良県天理市袖之内町1050番地 設置年月：昭和17年12月 名称：天理大学附属天理参考館 目的：民俗学・民族学・考古学に関する学術研究資料を総合的に収集、整理、保存 所在地：奈良県天理市守日堂町250番地 設置年月：昭和5年4月 規模等：延面積 13,556㎡ 収蔵資料 30万点</p>								

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人天理大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由	
天理大学 人間学部 宗教学科 40 — 160 人間関係学科 臨床心理専攻 30 — 120 生涯教育専攻 20 — 80 社会福祉専攻 30 — 120 文学部 国文学国語学科 40 — 160 歴史文化学科 50 — 200 国際学部 外国語学科 英米語専攻 70 — 280 中国語専攻 30 — 120 韓国・朝鮮語専攻 30 — 120 スペイン語・ ブラジルポルトガル語専攻 35 — 140 地域文化学科 195 — 780 体育学部 体育学科 200 — 800 <hr style="border: 1px solid black;"/> 計 770 — 3080				→	天理大学 人間学部 宗教学科 40 — 160 人間関係学科 臨床心理専攻 30 — 120 生涯教育専攻 20 — 80 社会福祉専攻 30 — 120 文学部 国文学国語学科 40 — 160 歴史文化学科 50 — 200 国際学部 外国語学科 英米語専攻 70 — 280 中国語専攻 30 — 120 韓国・朝鮮語専攻 30 — 120 スペイン語・ ブラジルポルトガル語専攻 35 — 140 地域文化学科 195 — 780 体育学部 体育学科 200 — 800 医療学部 看護学科 70 — 280 臨床検査学科 30 — 120 <hr style="border: 1px solid black;"/> 計 870 — 3480				学部設置者の変更
天理大学大学院 宗教文化研究科 宗教文化研究専攻 6 — 12 臨床人間学研究科 臨床心理学専攻 8 — 16 体育学研究科 体育学専攻 12 — 24 <hr style="border: 1px solid black;"/> 計(大学院) 26 — 52				→	天理大学大学院 宗教文化研究科 宗教文化研究専攻 6 — 12 臨床人間学研究科 臨床心理学専攻 8 — 16 体育学研究科 体育学専攻 12 — 24 <hr style="border: 1px solid black;"/> 計(大学院) 26 — 52				
天理医療大学 医療学部 看護学科 70 — 280 臨床検査学科 30 — 120 <hr style="border: 1px solid black;"/> 計 100 — 400									

学校法人天理大学 沿革

(1) 建学の精神

親神（おやがみ）は、「陽気ぐらし」を共に楽しみたいと思召されて、人間世界を創造された。

教祖（おやさま）は、この元なる親神（おやがみ）の存在と、世界一列きょうだいの真実を明かし、「ひながた」の道を通して、互いにたすけあう生き方を示された。

本学は、教祖（おやさま）の教えに基づいて、「陽気ぐらし」世界建設に寄与する人材の養成を使命とする。

—解説—

天理教は、「陽気ぐらし」を目標に、世界たすけを目指す宗教である。「陽気ぐらし」を実現するためには、人間みな神の子として兄弟姉妹であることを自覚し、互いにたすけ合って生きなければならない。教祖中山みきは、この真実を自ら身をもって示された。これが「ひながた」であり、人間の行動規範である。「陽気ぐらし」世界は、全人類が平和に暮らせる、まったく新しい地球文明である。天理大学は、さまざまな文化、文明の特色を認識し、その違いを尊重しながら、互いに補い合いたすけ合っていく道を、理論と実践の両面から探求するとともに、天理スピリットとして「他者への献身」を強調している。

(2) 沿革

- 明治33年 天理教校開校
- 明治41年 私立天理中学校開校(大正8年天理中学校に改称)
- 大正 9年 天理女学校開校
- 大正12年 天理女学校を高等女学校令による天理高等女学校に改組・改称
- 大正14年 天理幼稚園、天理尋常小学校、各種学校令による天理外国語学校開校
天理図書館を天理外国語学校内に設置
- 昭和 2年 財団法人天理外国語学校設立、専門学校令による天理外国語学校開校
- 昭和 3年 専門学校令による天理外国語学校(男子)と天理女子学院(女子)に改組・改称
天理中等学校(定時制)開校(昭和18年天理中学校第二部に統合)
- 昭和 5年 海外事情参考品室(現天理大学附属天理参考館)を天理外国語学校内に設置
- 昭和10年 財団法人天理教いちれつ会に改組、天理第二中学校開校
- 昭和15年 天理女子学院を専門学校令による天理女子専門学校に改組・改称
- 昭和16年 天理夜間女学校開校(昭和19年天理高等女学校第二部に改組)
- 昭和17年 天理教亜細亜文化研究所(現天理大学附属おやさと研究所)設置
- 昭和19年 天理外国語学校を天理語学専門学校に、また天理女子専門学校を天理女子語学
専門学校にそれぞれ改組・改称(昭和22年統合、昭和26年廃校)
- 昭和22年 新制天理中学校開校
- 昭和23年 財団法人天理語学専門学校に改組、新制天理高等学校(第一部・第二部)開校
- 昭和24年 財団法人天理大学に改称
新制天理大学開学
(文学部、昭和27年外国語学部設置(平成12年廃止)、昭和30年体育学部設置)
- 昭和25年 天理大学短期大学部設置(昭和34年廃止)
- 昭和26年 私立学校法により学校法人天理大学に組織変更
- 昭和33年 天理大学選科日本語科設置(昭和56年別科日本語課程、外国語課程に改組・改称、
外国語課程は平成4年度から募集停止、日本語課程は平成6年度から募集停止)

- 昭和38年 天理准看護婦養成所開設(平成13年廃止)
- 平成 4年 天理大学人間学部(宗教学科、人間関係学科)、国際文化学部(日本学科、朝鮮学科、中国学科、タイ学科、インドネシア学科、英米学科、ドイツ学科、フランス学科、ロシア学科、イスパニア学科、ブラジル学科(平成15年募集停止、平成21年廃止))、文学部(歴史文化学科)設置
- 平成12年 天理高等学校第二部に介護福祉科設置(平成24年廃止)
- 平成15年 天理大学国際文化学部アジア学科、ヨーロッパ・アメリカ学科設置(平成22年募集停止、平成29年廃止)
- 平成16年 天理大学大学院臨床人間学研究科臨床心理学専攻修士課程設置
- 平成22年 天理大学国際学部外国語学科、地域文化学科設置
- 平成27年 天理大学大学院体育学研究科体育学専攻修士課程設置
- 平成29年 天理大学大学院宗教文化研究科宗教文化研究専攻修士課程設置

学校法人天理よろづ相談所学園・天理医療大学の沿革

(1) 建学の精神

人に尽くすことを自らのよろこびとする

(解説)

天理医療大学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、人に尽くすことを自らのよろこびとするという天理教の信条教育を基調として、社会人としての豊かな知識を持ち、医療に関わる専門性の高い技術・技能を習得し、真摯に科学する精神を育み、人に対する深い愛情と自分を律する謙虚な心を胸に秘めた人材を育成することを目的としている。

大学設立の目的にそって、自ら積極的に知識と技術を学びとる学習態度を持ち、また、他者との関わりを大事にして、チーム医療の一員としての役割を果たせる心と技術を獲得できる、即ち自律と協働する力を持った医療者を育てることを医療学部設置の目的としている。

(2) 沿革

公益財団法人天理よろづ相談所は、昭和41年に天理よろづ相談所病院（別称 憩の家）を設立し、医療奉仕活動を続けている。天理教教義の教養を備え、「たすけの心」＝「人に尽くすことを自らのよろこびとする心」を基本とした医療者の育成事業としては、昭和42（1967）年に天理高等看護学院（後の天理看護学院）と天理衛生検査技師学校（後の天理医学技術学校）を開校。これまで多くの看護師、助産師、臨床検査技師、臨床工学技士が卒業し、奈良県内のみならず、広く全国の医療機関や医療施設で活躍している。学校法人天理よろづ相談所学園は、この両校の理念と実績を継承し天理医療大学を設立した。

- 昭和41（1966）年 財団法人天理よろづ相談所病院 設立
- 昭和42（1967）年 天理高等看護学院（定員50名）、及び天理衛生検査技師学校開校
- 昭和48（1973）年 天理衛生検査技師学校の学校名を「天理医学技術学校」に改称
- 昭和52（1977）年 天理高等看護学院 学則一部改正 学生定員を1学年80名に増員
- 昭和54（1979）年 天理高等看護学院 専修学校認可 学院名を「天理看護学院」に改称
天理医学技術学校 専修学校<医療専門課程>認可
- 昭和60（1985）年 天理看護学院 3年過程認可 第一看護学科と呼称、定員50名
従来の2年過程は第二看護学科と呼称 定員50名
- 平成6（1994）年 天理医学技術学校 「専門士」称号授与認可
- 平成7（1995）年 天理看護学院 「専門士」称号授与認可
- 平成8（1996）年 天理看護学院・天理医学技術学校 新校舎竣工
- 平成10（1998）年 天理看護学院 学則一部変更 第一看護学科定員70名
第二看護学科定員30名
- 平成13（2001）年 天理医学技術学校 臨床工学専攻科（昼間1年制）新設
- 平成15（2003）年 天理看護学院 学生寮を「よろこび寮」と改称
男子学生寮「おやさと一号館」竣工
- 平成17（2005）年 天理看護学院 第二看護学科閉科
天理看護学院 助産学科（昼間1年制）新設
- 平成21（2009）年 女子学生寮「別所よろこび寮」竣工
- 平成23（2011）年 学校法人天理よろづ相談所学園 設立
天理医療大学 大学設置認可

教 育 課 程 等 の 概 要

(医療学部看護学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	天理教学A1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学A2	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学B1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学B2	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学C1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学C2	1・2・3・4			2	○									兼1
	建学の精神科目		2・3・4			2	○								兼1 遠隔
基礎教育科目	基礎ゼミナール	1	2				○		4		1	1			兼4
	英語A1	1	1				○			1					兼3
	英語A2	1	1				○			1					兼3
	英語B1	1	1				○			1					兼3
	英語B2	1	1				○			1					兼3
	健康スポーツ科学1	1		2		○									兼3
	健康スポーツ科学2	1		2		○									兼3
基礎からわかる生物・化学	1	2			○			2							
教養科目	地球環境論	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本国憲法	1・2・3・4		2		○									兼1
	法学	1・2・3・4		2		○									兼1
	経済学概論1	1・2・3・4		2		○									兼1
	経済学概論2	1・2・3・4		2		○									兼1
	政治学	1・2・3・4		2		○									兼1
	哲学概論A	1・2・3・4		2		○									兼1
	哲学概論B	1・2・3・4		2		○									兼1
	倫理学1	1・2・3・4		2		○									兼1
	倫理学2	1・2・3・4		2		○									兼1
	心理学1	1・2・3・4		2		○									兼1
	心理学2	1・2・3・4		2		○									兼1
	ジェンダー・セクシュアリティ	1・2・3・4		2		○									兼1
	労働と社会	1・2・3・4		2		○									兼1
	障害学	1・2・3・4		2		○									兼1
カルチュラルスタディーズ	1・2・3・4		2		○									兼1	
小計(31科目)		—	8	36	14	—			6	4	1	1	0	兼45	
専門科目	臨床心理学	1	2			○									兼2
	コミュニケーション演習	1	1				○			1					兼1
	現代家族論	2		2		○									兼1
	教育学概論	2		2		○									兼1
	医療英語A	2			1		○		1	2					兼1
	医療英語B	2			1		○		1	1					兼1
	体のしくみⅠ	1	2			○			1						兼1
	体のしくみⅡ	1	2			○			1						兼1
	分子医学の基礎	1	2			○			2						
	生化学	1		2		○			2						
	微生物学	1			1		○		1						兼1
疾病の成り立ちと治療Ⅰ	1	2			○			2							

	疾病の成り立ちと治療Ⅱ	1	2			○			3					兼4
	疾病の成り立ちと治療Ⅲ	2	2			○			2					兼5
	疾病の成り立ちと治療Ⅳ	2	2			○			2					兼4
	疾病の成り立ちと治療Ⅴ	2	2			○			1					兼6
	病理学	2		1			○		1					
	薬理学・臨床薬理学	2	2			○			1					兼2
	栄養学・臨床栄養学	2	2			○				1				兼3
	保健医療概論	1	2			○			3	1				兼3
	公衆衛生学	1	2			○			1					
	保健医療福祉行政論	2	2			○			2		1			兼2
	現代社会と福祉 1	2	2			○								兼1
	医療安全管理学	4	2			○								兼2
	情報科学演習	2	1				○		1					
	小計 (25科目)	—	34	4	6		—		28	6	1	0	0	兼42
看護学 専門科目	看護学概論	1	2			○			2					
	看護早期実習	1	1					○	2	1	2			
	看護過程論	1	1					○	2	1	2			兼1
	看護方法論Ⅰ	1	2					○	2	1	2			兼1
	看護援助論	2	2			○			2	1	2			兼1
	看護方法論Ⅱ	2	2					○	2	1	2			兼1
	ヘルスアセスメント	2	2					○	2	1	2			兼1
	看護基礎実習	2	2					○	2	1	2			
	地域の暮らしと看護	1	1					○	1	2				
	地域・在宅看護学	2	2			○			1	1				兼1
	地域看護方法論	2	1					○	1	2				
	在宅看護方法論	2	1					○	1	2				
	在宅看護学実習	4	2					○	1	2				兼1
	地域共生マネジメント論	4	1					○	1	1				兼1
	地域共生マネジメント実習	4	1					○	1	1				兼1
	成人看護学	2	2			○			1	3				
	成人看護援助論	3	2			○			1	3		1		兼1
	慢性期看護方法論	3	1					○	1	3		1		
	慢性期（在宅移行）看護学実習	3	3					○	1	3		1		
	急性期看護方法論	3	1					○	1	3		1		
	急性期看護学実習	3	2					○	1	3		1		
	高齢者看護学	2	2			○			1	1	2	1		
	高齢者看護学方法論	3	2					○	1	1	2	1		
	高齢者看護学実習Ⅰ	3	1					○	1	1	2	1		
	高齢者看護学実習Ⅱ	3	2					○	1	1	2	1		
	小児看護学	2	2			○			1	2		1		
	小児看護方法論	3	2					○	1	2				兼3
	小児看護学実習	3	2					○	1	1				
	母性看護学	2	2			○			1	1				
	母性看護方法論	3	2					○	1	1		1		
	母性看護学実習	3	2					○	1	1		1		
	精神看護学	2	2			○			1					
	精神看護方法論	3	2					○	1	1				
精神看護学実習	3	2					○	1	1					
地域健康教育方法論	2	1					○	1		1			学科教員全員	
地域健康教育実習	2	1					○	1					学科教員全員	
家族看護論	3		1			○		4						
ストレスマネジメント論	3		1			○		1						
看護学研究方法論	3	1					○	3					学科教員全員	
看護学研究	4	2					○	1					学科教員全員	
看護管理論	4	2				○		1					兼5	

看護総合実習	4	2				○	1						学科教員全員
臨床判断能力の探求	4	1				○	1						学科教員全員
国際看護論	4	1				○		1					兼2
災害看護論	4	1				○	1						
緩和ケア論	4		1			○	1						
がん看護論	4		1			○			1				
ウィメンズヘルスケア論	4		1			○	1		1			1	
クリティカルケア論	4		1			○			2				
グリーンフケア論	4		1			○		1					
高齢者健康増進看護論	4		1			○				1	2	2	
小計 (75科目)	—	71	8	0		—	60	7	51	24	15	兼20	
合計 (131科目)	—	113	48	20		—	94	17	53	25	15	兼107	
学位又は称号	学士 (看護学)			学位又は学科の分野			看護学						
卒業要件及び履修方法							授業期間等						
							1 学年の学期区分			2 期			
							1 学期の授業期間			15 週			
							1 時限の授業時間			90 分			

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 5 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教 育 課 程 等 の 概 要

（医療学部臨床検査学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	天理教学A 1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学A 2	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学B 1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学B 2	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学C 1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学C 2	1・2・3・4			2	○									兼1
	建学の精神科目		2・3・4			2	○								
基礎教育科目	基礎ゼミナール	1	2				○		4		1	1			兼4
	英語A 1	1	1				○			1					兼3
	英語A 2	1	1				○			1					兼3
	英語B 1	1	1				○			1					兼3
	英語B 2	1	1				○			1					兼3
	健康スポーツ科学 1	1		2		○									兼3
	健康スポーツ科学 2	1		2		○									兼3
基礎からわかる生物・化学	1	2			○			2							
教養科目	地球環境論	1・2・3・4			2	○									兼1
	日本国憲法	1・2・3・4			2	○									兼1
	法学	1・2・3・4			2	○									兼1
	経済学概論 1	1・2・3・4			2	○									兼1
	経済学概論 2	1・2・3・4			2	○									兼1
	政治学	1・2・3・4			2	○									兼1
	哲学概論A	1・2・3・4			2	○									兼1
	哲学概論B	1・2・3・4			2	○									兼1
	倫理学 1	1・2・3・4			2	○									兼1
	倫理学 2	1・2・3・4			2	○									兼1
	心理学 1	1・2・3・4			2	○									兼1
	心理学 2	1・2・3・4			2	○									兼1
	ジェンダー・セクシュアリティ	1・2・3・4			2	○									兼1
	労働と社会	1・2・3・4			2	○									兼1
	障害学	1・2・3・4			2	○									兼1
	カルチュラルスタディーズ	1・2・3・4			2	○									兼1
小計（31科目）		—	8	36	14	—			6	4	1	1	0	兼45	
専門科目	臨床心理学	1	2			○									兼2
	コミュニケーション演習	1	1				○			1					兼1
	現代家族論	2		2		○									兼1
	教育学概論	2		2		○									兼1
	医療英語A	2			1		○		1	2					兼1
	医療英語B	2			1		○		1	1					兼1
	体のしくみ I	1	2			○			1						兼1
	体のしくみ II	1	2			○			1						兼1
	分子医学の基礎	1	2			○			2						
	生化学	1			2	○			2						
	微生物学	1			1		○		1						兼1
	疾病の成り立ちと治療 I	1	2			○			2						
	疾病の成り立ちと治療 II	1	2			○			3						兼4
	疾病の成り立ちと治療 III	2	2			○			2						兼5
	疾病の成り立ちと治療 IV	2	2			○			2						兼4
	疾病の成り立ちと治療 V	2	2			○			1						兼6
病理学	2			1		○		1							

	薬理学・臨床薬理学	2	2			○			1						兼2
	栄養学・臨床栄養学	2	2			○				1					兼3
	保健医療概論	1	2			○			3	1					兼3
	公衆衛生学	1	2			○			1						
	保健医療福祉行政論	2	2			○			2		1				兼2
	現代社会と福祉1	2	2			○									兼1
	医療安全管理学	4	2			○									兼2
	情報科学演習	2	1				○		1						
	小計 (25科目)	—	34	4	6		—		28	6	1	0	0		兼42
臨床検査学専門科目	医用工学	4	2			○				1	1				
	医用工学実習	4	1					○		1					
	血液検査学Ⅰ	1	2			○					1				
	血液検査学Ⅱ	1	1					○	1		1				兼1
	血液検査学実習	2	1					○			1				兼4
	病理検査学Ⅰ	2	2			○			1						兼1
	病理検査学Ⅱ	3	1					○	1						兼1
	病理検査学実習Ⅰ	2	1					○	1						兼2
	病理検査学実習Ⅱ	3	1					○	1						兼2
	臨床一般検査学	1	2			○			1						
	臨床一般検査学実習	1	1					○	1		1				
	医動物検査学	4	1					○	1		1				兼1
	生化学検査学	1	2			○			1						
	生化学検査学実習	2	1					○	1						
	免疫検査学	2	2			○			1		1				兼1
	免疫検査学実習	2	1					○	1		1				兼2
	遺伝子関連・染色体検査学	3	1					○			1				
	遺伝子関連・染色体検査学実習	3	1					○			1				
	輸血・移植検査学	3	2			○			1		1				兼2
	輸血・移植検査学実習	3	2					○	1		1				兼2
	微生物検査学Ⅰ	2	2			○			1		1				
	微生物検査学Ⅱ	2	2			○			1		1				
	微生物検査学実習	3	2					○	1		1				
	基礎生理検査学	1	2			○			1						
	循環機能検査学	1	2			○			1		1				
	神経感覚機能検査学	2	2			○			1						兼2
	超音波検査学	2	2			○			2						兼4
	生理検査学実習	2	2					○	1		1				兼5
	臨床検査総合管理学Ⅰ	1	2			○			1						
	臨床検査総合管理学Ⅱ	2	1					○	1		1				兼1
	臨床検査総合管理学Ⅲ	3	1					○	1						兼3
	臨床検査総合管理学Ⅳ	4	1					○	1						兼2
	臨床病態検査学	4	1					○	1						兼1
	臨地実習前総合演習	3	1						6	1	3				
	病理検査学臨地実習	3	1						1						
	血液検査学・輸血移植検査学臨地実習	3	2								1				
	生化学・免疫検査学臨地実習	3	1						3						
	微生物検査学臨地実習	3	1						1		1				
	生理検査学臨地実習	3	4						1	1					
	検査総合管理学臨地実習	3	2						2	1					
専門的臨床検査実習	4	1						5	1	2					
臨床検査基礎演習	1	1				○		4		3					
臨床検査学研究Ⅰ	3	1				○		6	1	3					
臨床検査学研究Ⅱ	4	6					○	6	1	3					
臨床検査学研究A	4	1				○		6	1	2					
臨床検査学研究B	4		1			○		1							
臨床検査学総合演習A	4		1			○		1		1					
臨床検査学総合演習B	4		1			○		1		1					
臨床検査学総合演習C	4		1			○		2		1					
臨床検査学総合演習D	4		1			○		1	1						
小計 (76科目)	—	72	5	0		—		75	10	39	0	0		兼37	

合計 (132科目)		—	114	45	20	—	109	20	41	1	0	兼124
学位又は称号	学士 (臨床検査学)	学位又は学科の分野		保健衛生学								
卒業要件及び履修方法							授業期間等					
							1 学年の学期区分		2 期			
							1 学期の授業期間		15 週			
							1 時限の授業時間		90 分			

(注)

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 5 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教 育 課 程 等 の 概 要

（医療学部看護学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合教育科目	天理教学A1	1・2・3・4			2	○					1					
	天理教学A2	1・2・3・4			2	○				1						
	天理教学B1	1・2・3・4			2	○									兼1	
	天理教学B2	1・2・3・4			2	○									兼1	
	天理教学C1	1・2・3・4			2	○									兼1	
	天理教学C2	1・2・3・4			2	○									兼1	
	建学の精神科目	2・3・4			2	○			1						遠隔	
	基礎ゼミナール	1	2				○		4		1	1			兼4	
	英語A1	1	1				○			1					兼3	
	英語A2	1	1				○			1					兼3	
	英語B1	1	1				○			1					兼3	
	英語B2	1	1				○			1					兼3	
	健康スポーツ科学1	1		2			○			2			1			
	健康スポーツ科学2	1		2			○			2			1			
	基礎からわかる生物・化学	1	2				○		2							
	教養科目	地球環境論	1・2・3・4			2	○									兼1
		日本国憲法	1・2・3・4			2	○									兼1
		法学	1・2・3・4			2	○									兼1
		経済学概論1	1・2・3・4			2	○									兼1
経済学概論2		1・2・3・4			2	○									兼1	
政治学		1・2・3・4			2	○									兼1	
哲学概論A		1・2・3・4			2	○				1						
哲学概論B		1・2・3・4			2	○				1						
倫理学1		1・2・3・4			2	○			1							
倫理学2		1・2・3・4			2	○			1							
心理学1		1・2・3・4			2	○									兼1	
心理学2		1・2・3・4			2	○									兼1	
ジェンダー・セクシュアリティ		1・2・3・4			2	○			1							
労働と社会		1・2・3・4			2	○									兼1	
障害学		1・2・3・4			2	○									兼1	
カルチュラルスタディーズ	1・2・3・4			2	○			1								
小計（31科目）		—	8	36	14		—	11	10	3	3	0		兼30		
専門科目	学部共通科目															
	臨床心理学	1	2			○			1						兼1	
	コミュニケーション演習	1	1				○			1					兼1	
	現代家族論	2		2			○								兼1	
	教育学概論	2		2			○								兼1	
	医療英語A	2			1			○	1	2					兼1	
	医療英語B	2			1				1	1					兼1	
	体のしくみI	1	2				○		1						兼1	
	体のしくみII	1	2				○		1						兼1	
	分子医学の基礎	1	2				○		2							
	生化学	1			2			○	2							
	微生物学	1			1				1						兼1	
	疾病の成り立ちと治療I	1	2					○	2							
	疾病の成り立ちと治療II	1	2						3						兼4	
疾病の成り立ちと治療III	2	2						2						兼5		
疾病の成り立ちと治療IV	2	2						2						兼4		
疾病の成り立ちと治療V	2	2						1						兼6		

	高齢者健康増進看護論	4		1		○								
	小計 (75科目)	—	71	8	0	—			1	1	2	2		
	合計 (131科目)	—	113	48	20	—			60	7	51	24	15	兼20
	合計 (131科目)	—	113	48	20	—			100	23	56	27	15	兼90
学位又は称号	学士 (看護学)	学位又は学科の分野				看護学								
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
							1 学年の学期区分			2 期				
							1 学期の授業期間			15 週				
							1 時限の授業時間			90 分				

(注)

- 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

教 育 課 程 等 の 概 要

（医療学部臨床検査学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	天理教学A1	1・2・3・4			2	○					1				
	天理教学A2	1・2・3・4			2	○				1					
	天理教学B1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学B2	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学C1	1・2・3・4			2	○									兼1
	天理教学C2	1・2・3・4			2	○									兼1
	建学の精神科目		2・3・4			2	○			1					
基礎教育科目	基礎ゼミナール	1	2				○		4		1	1			兼4
	英語A1	1	1				○			1					兼3
	英語A2	1	1				○			1					兼3
	英語B1	1	1				○			1					兼3
	英語B2	1	1				○			1					兼3
	健康スポーツ科学1	1		2		○				2		1			
	健康スポーツ科学2	1		2		○				2		1			
基礎からわかる生物・化学	1	2			○			2							
教養科目	地球環境論	1・2・3・4			2	○									兼1
	日本国憲法	1・2・3・4			2	○									兼1
	法学	1・2・3・4			2	○									兼1
	経済学概論1	1・2・3・4			2	○									兼1
	経済学概論2	1・2・3・4			2	○									兼1
	政治学	1・2・3・4			2	○									兼1
	哲学概論A	1・2・3・4			2	○				1					
	哲学概論B	1・2・3・4			2	○				1					
	倫理学1	1・2・3・4			2	○				1					
	倫理学2	1・2・3・4			2	○				1					
	心理学1	1・2・3・4			2	○									兼1
	心理学2	1・2・3・4			2	○									兼1
	ジェンダー・セクシュアリティ	1・2・3・4			2	○				1					
	労働と社会	1・2・3・4			2	○									兼1
	障害学	1・2・3・4			2	○									兼1
カルチュラルスタディーズ	1・2・3・4			2	○				1						
小計（31科目）		—	8	36	14	—			11	10	3	3	0	兼30	
専門科目	臨床心理学	1	2			○			1						兼1
	コミュニケーション演習	1	1				○			1					兼1
	現代家族論	2		2		○									兼1
	教育学概論	2		2		○									兼1
	医療英語A	2			1		○		1	2					兼1
	医療英語B	2			1		○		1	1					兼1
	体のしくみⅠ	1	2			○			1						兼1
	体のしくみⅡ	1	2			○			1						兼1
	分子医学の基礎	1	2			○			2						
	生化学	1			2	○			2						
	微生物学	1			1		○		1						兼1
	疾病の成り立ちと治療Ⅰ	1	2			○			2						
	疾病の成り立ちと治療Ⅱ	1	2			○			3						兼4
	疾病の成り立ちと治療Ⅲ	2	2			○			2						兼5
	疾病の成り立ちと治療Ⅳ	2	2			○			2						兼4
疾病の成り立ちと治療Ⅴ	2	2			○			1						兼6	
病理学	2			1		○		1							

	薬理学・臨床薬理学	2	2			○			1					兼2
	栄養学・臨床栄養学	2	2			○				1				兼3
	保健医療概論	1	2			○			3	1				兼3
	公衆衛生学	1	2			○			1					
	保健医療福祉行政論	2	2			○			2		1			兼2
	現代社会と福祉1	2	2			○					1			
	医療安全管理学	4	2			○								兼2
	情報科学演習	2	1				○		1					
	小計 (25科目)	—	34	4	6		—		29	6	2	0	0	兼40
臨床検査学専門科目	医用工学	4	2			○				1	1			
	医用工学実習	4	1					○		1				
	血液検査学Ⅰ	1	2			○					1			
	血液検査学Ⅱ	1	1					○	1		1			兼1
	血液検査学実習	2	1					○			1			兼4
	病理検査学Ⅰ	2	2			○			1					兼1
	病理検査学Ⅱ	3	1					○	1					兼1
	病理検査学実習Ⅰ	2	1					○	1					兼2
	病理検査学実習Ⅱ	3	1					○	1					兼2
	臨床一般検査学	1	2			○			1					
	臨床一般検査学実習	1	1					○	1		1			
	医動物検査学	4	1					○	1		1			兼1
	生化学検査学	1	2			○			1					
	生化学検査学実習	2	1					○	1					
	免疫検査学	2	2			○			1		1			兼1
	免疫検査学実習	2	1					○	1		1			兼2
	遺伝子関連・染色体検査学	3	1					○			1			
	遺伝子関連・染色体検査学実習	3	1					○			1			
	輸血・移植検査学	3	2			○			1		1			兼2
	輸血・移植検査学実習	3	2					○	1		1			兼2
	微生物検査学Ⅰ	2	2			○			1		1			
	微生物検査学Ⅱ	2	2			○			1		1			
	微生物検査学実習	3	2					○	1		1			
	基礎生理検査学	1	2			○			1					
	循環機能検査学	1	2			○			1		1			
	神経感覚機能検査学	2	2			○			1					兼2
	超音波検査学	2	2			○			2					兼4
	生理検査学実習	2	2					○	1		1			兼5
	臨床検査総合管理学Ⅰ	1	2			○			1					
	臨床検査総合管理学Ⅱ	2	1					○	1		1			兼1
	臨床検査総合管理学Ⅲ	3	1					○	1					兼3
	臨床検査総合管理学Ⅳ	4	1					○	1					兼2
	臨床病態検査学	4	1					○	1					兼1
	臨床実習前総合演習	3	1						6	1	3			
	病理検査学臨床実習	3	1						1					
	血液検査学・輸血移植検査学臨床実習	3	2								1			
生化学・免疫検査学臨床実習	3	1						3						
微生物検査学臨床実習	3	1						1		1				
生理検査学臨床実習	3	4						1	1					
検査総合管理学臨床実習	3	2						2	1					
専門的臨床検査実習	4	1						5	1	2				
臨床検査基礎演習	1	1				○		4		3				
臨床検査学研究Ⅰ	3	1				○		6	1	3				
臨床検査学研究Ⅱ	4	6					○	6	1	3				
臨床検査学研究A	4	1				○		6	1	2				
臨床検査学研究B	4		1			○		1						
臨床検査学総合演習A	4		1			○		1		1				
臨床検査学総合演習B	4		1			○		1		1				
臨床検査学総合演習C	4		1			○		2		1				
臨床検査学総合演習D	4		1			○		1	1					
小計 (76科目)	—	72	5	0		—		75	10	39	0	0	兼37	

合計 (132科目)	—	114	45	20	—	115	26	44	3	0	兼107
学位又は称号	学士 (臨床検査学)	学位又は学科の分野				保健衛生学					
卒業要件及び履修方法						授業期間等					
						1 学年の学期区分			2 期		
						1 学期の授業期間			15 週		
						1 時限の授業時間			90 分		

(注)

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 5 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。